



ことばの教室

教室案内

令和8年4月 行田東小学校ことばの教室担当

このような心配があれば、ぜひご相談ください！

1. 発音が正しくできない

このタかな

テエビがみたい

きのうのはなし

音が置き換わる

音が省かれる

それらしく聞こえるが、どこか違う音

2. 話すとき、はじめの音がつまったり、くり返したりすることがある。

あ、あ、あのね…

ぼーくね…

…っ、…っ、わたしも…

くりかえす

ひきのばす

出だしがつまる

3. 日常生活は、しっかりできているけど、ことばの面で、語彙が少なかったり、音韻がうまくできなったりする。

ことばのことで、何かお困りがあまら、
まずは、学級担任までお知らせください。

《ことばの教室って？》

船橋市内にことばの教室がある学校は5校あります。船橋小・行田東小・高根台第三小・習志野台第一小・二宮小です。現在、中学校にはありません。ふだんはそれぞれの学級で勉強しながら、週に1～2回程度時間を決めて、ことばの教室に通います。このシステムを「通級による指導」といいます。時間については、担任の先生と相談して、学習に支障のないように決めています。

《お子さんの様子を見てみましょう》

発音に何らかの影響をあたえているかもしれません。



- ・口を閉じて食べていない。
- ・よく食べこぼすことがある。
- ・よく、よだれやつばがでる。
- ・テレビや読書、宿題をしているときに、常に口が開いている。
- ・口を開けて呼吸している。

《ことばの習得は奥が深い》

- ・ことばの習得は、生まれた時から始まっています。発音の仕方は誰かに教えてもらうわけではなく、自分の耳で聞いた音と同じ音を声に出して話します。幼少期に中耳炎等の耳の病気で明瞭な音が認識できないときは、正しい音を出すことができません。そのため、間違った発音が定着してしまうことがあります。
- ・音にするときは舌や顎を使います。食生活も大事なポイントになります。舌や顎は、生まれてすぐにミルクを飲むときから使い始めているのです。舌や顎の動かし方がスムーズにできないと正しい音が出せません。
- ・ことばの習得には、聞くこと・話すこと・食べることが大きく関係しています。